

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース			
科目名	ドッグトレーニング実習						必修・選択必修の別		必修	
実施期	1年	前期	39	時間	後期	39	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	78	時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間			
	3年	前期	-	時間	後期	-	時間			
担当講師	田山 かおり									
	実務経験	有	優良家庭犬普及協会のGCT資格を取得、仔犬から成犬を含むしつけ教室の運営を経験している。							
授業概要	病院の受付業務時にてしつけ教室やパピークラスを薦られる様に人道的なトレーニング方法の理解を深める。預かり犬の散歩が出来るようにリードの持ち方や扱い方を学ぶ。							授業形式	実習	
到達目標	学習理論に基づいた犬のトレーニング方法と管理方法を身につける。									
教科書・教材・服装等	服装：実習着、スニーカー（インヒール不可）									
授業計画時間数	授業内容									
1～3	実習の流れと持ち物の説明。実習に関する事の説明。施設案内。ケネルリードの使い方。ご褒美の使い									
4～6	クレートからの出し入れ。抱き上げ練習。ご飯の与え方練習。									
7～9	首輪の種類説明①。首輪のフィッティング練習。犬カルテの書き方説明。座学/ストレスサイン。犬プレート の見方。誘導方法（基本姿勢）。									
10～12	座学/カーミングシグナル。基本姿勢+マテ。座学/犬を扱う前に知っておくこと①。マテ+誉め言葉。									
13～15	座学/正しくない犬へのあいさつ、ファーストコンタクト。一緒に歩く練習。									
16～18	首輪の種類説明②。食器のルール。スピン（指示手）。									
19～21	座学/古典的条件付け・オペラント条件付け。一緒に歩く練習+人は顔を上げる。人が近付くと犬は座る練									
22～24	座学/ポリスドッグ。基本姿勢+プロンプト。座学/3つの本能。呼び戻し練習①。									
25～27	座学/キューの付け方+実践。座学/クレートトレーニング。解放の合図。カーミングシグナル。									
28～30	座学/4つのD。クレートトレーニング+待機。座学/ハンドリングの重要性。リードのルール。									
31～33	座学/プレオナークラス。抱き上げ練習復習。8の字。									
34～36	座学/フードのパッケージの見方。セトルダウン。									
37～39	確認テスト。座学/アラウンド。呼び戻し練習②。									
40～42	座学/引っ張り防止補助道具説明+装着+すれ違い練習。									
43～45	診察台へ乗せる+触られる練習。座学/お散歩+実践（近隣の公園まで郊外授業）。ケーススタディ①。									
46～48	問題行動に対する改善と対策①									
49～51	問題行動に対する改善と対策②									
52～54	問題行動に対する改善と対策③									
55～57	座学/パピークラス。口輪装着練習+拮抗条件付け。おもちゃの種類と使い方説明。									
58～60	座学/老犬のしつけ①。足場慣らし。バンダナ慣らし。足ふき練習+ハズバンダリートレーニング									
61～63	座学/老犬のしつけ②。仰向け抱っこ。知育玩具。									
64～66	座学/生後0日からの社会化。ノーズワークゲーム①。									
67～69	座学/警察犬競技会（服従・防衛・臭気）説明。ノーズワークゲーム②。									
70～72	座学/行動問題。ノーズワークゲーム③。									
73～75	座学/爆薬探知犬。ノーズワークゲーム④フジツボチャレンジ。									
76～78	確認テスト。座学/罰を扱う前に知っておくこと。総復習。									

成績評価方法	・ 出席率		定期試験		筆記試験
	・ 小テスト				実技試験
	・ 平常点（授業参加意欲など）			○	実施しない
成績評価基準	A評価	出席率80％以上・ 定期試験や小テスト90点以上・ 平常点 優れている			
	B評価	出席率70％以上・ 定期試験や小テスト70～89点以上・ 平常点 普通			
	C評価	出席率50％以上・ 定期試験や小テスト50～69点以上・ 平常点 やや劣る			
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合			